



製品安全データシート

製品名 Loctite 350
初版 平成 6 年 3 月 10 日
改訂 平成 21 年 10 月 1 日
管理番号：153518-5

Product Safety & Regulatory Affairs

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード： 153518
製品名： **Loctite 350**
会社名： ヘンケルジャパン株式会社
住所： 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲
電話番号： 045-758-1820 (ヘンケル技術センター コールセンター)
ファックス番号： 045-758-1826 (ヘンケル技術センター コールセンター)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性 / 刺激性	区分 1A
眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性	区分 1
水生環境 - 急性有害性	区分 2

* 記載がないものは分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

水生生物に毒性

使用上の注意 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

保護手袋を着用すること。取扱い後はよく洗うこと。

粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

(必要な時以外は) 環境への放出を避けること。

応急処置 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断 / 手当てを受けること。

特別処置が緊急に必要である。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。



製品安全データシート

製品名 Loctite 350
初版 平成 6 年 3 月 10 日
改訂 平成 21 年 10 月 1 日
管理番号：153518-5

Product Safety & Regulatory Affairs

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。

取り扱った後、手を洗うこと。

漏出物を回収すること。

保管及び廃棄方法 内容物/容器を地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

その他

最重要危険有害性

分類の名称： その他の有害物

物理的及び化学的危険性： 僅かに引火性がある。

人の健康に対する有害性： 眼に強い刺激性がある。皮膚に軽い刺激性が有る。蒸気は、眼、鼻及び喉を刺激する。皮膚の敏感な人が長時間若しくは、繰り返し接触すると炎症を起こす恐れが有る。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物

化学特性： アクリル系接着剤

危険有害成分及び濃度

成分	w t %
ポリウレタンメタクリレート樹脂	40 ~ 50
ヒドロキシアルキルメタクリレート	10 ~ 20
高沸点メタクリレート	10 ~ 20
アルキルメタクリレート	1 ~ 10
アクリル酸*	6.0
光開始剤	1 ~ 10

* 労働安全衛生法通知対象物質

4. 応急処置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動させる。異常があれば医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合： 水と石けんで良く洗い流す。汚染された衣服及び靴は脱ぎ捨てる。刺激が見られたら医師の診察を受ける。

眼に入った場合： 直ちに流水で最低 15 分間以上洗眼する。眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合： 無理に吐かせない。安静にして医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法： 火元への燃焼源を絶ち、適切な保護具（耐火服、手袋、自呼吸式マスク）を着用して指定消火器を使用し

Loctite 350



製品安全データシート

製品名 Loctite 350
初版 平成 6 年 3 月 10 日
改訂 平成 21 年 10 月 1 日
管理番号：153518-5

Product Safety & Regulatory Affairs

て風上から消火作業をする。燃焼時に有害なガスが発生する可能性があるためガスは吸入しないようにする。火災による熱で重合反応を起こし容器が破裂する恐れがある。

消火剤： 炭酸ガス、泡、粉末消火器

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項： 直ちに換気を行う。急激に重合反応を起こす可能性がある。付近の着火源・高温体および可燃物をすばやく取り除く。適切な保護具を着用し眼や皮膚との接触及び吸入を避ける。不活性な材質のものに吸着させ密封できる容器に回収し廃棄するまで安全な場所に保管する。

環境に対する注意事項： 下水等流れ出ないように流出防止を図る。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策： 保護具を着用し眼や皮膚に接触しないよう又、蒸気の吸入を避ける。

注意事項： 換気された場所で使用すること。

安全取扱注意事項：取扱いに関しては、十分注意すること。

保管 技術的対策： 重合開始種となる化合物との混入を避ける。

保管条件： 直射日光を避けて冷暗所に保管。

容器包装材料： 密閉した現容器にて保管。

8．暴露防止及び保護措置

保護具： 保護眼鏡又はゴーグル、保護手袋（ゴム、プラスチック製）
局所排気装置等の適切な排気装置

9．物理的及び化学的性質

外観：	透明～淡黄色液体	燃焼又は爆発範囲：	データ無し
臭い：	刺激臭	蒸気圧：	データ無し
pH：	該当しない	蒸気密度：	データ無し
融点/凝固点：	データ無し	比重：	1.1
沸点：	148 以上	溶解性：	水に僅か
引火点：	93 以上	オクタノール/水分配係数：	データ無し
自然発火温度：	データ無し	分解温度：	データ無し

10．安定性及び反応性

安定性： 通常の使用においては安定

特定条件下で生じる危険な反応： 熱などにより重合反応を起こす

危険有害な分解生成物： データ無し



製品安全データシート

製品名 Loctite 350
初版 平成 6 年 3 月 10 日
改訂 平成 21 年 10 月 1 日
管理番号 : 153518-5

Product Safety & Regulatory Affairs

1 1 . 有害性情報

局所効果 : 眼に強い刺激性がある。皮膚に軽い刺激性が有る。蒸気は、眼、鼻及び喉を刺激する。皮膚の敏感な人が長時間若しくは、繰り返し接触すると炎症を起こす恐れが有る。感作性物質を含有している為、人に感作を生じさせる恐れが有る。

原料情報

急性毒性 (経口)

アクリル酸 区分 4

急性毒性 (経皮)

アクリル酸 区分 3

急性毒性 (吸入 : 蒸気)

アクリル酸 区分 3

急性毒性 (吸入 : 粉塵、ミスト)

アクリル酸 区分 4

皮膚腐食性 / 刺激性

アクリル酸 区分 1A

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

アクリル酸 区分 1

標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)

アクリル酸 区分 1 (呼吸器) 、 区分 2 (肝臓)

標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露)

アクリル酸 区分 1 (呼吸器)

1 2 . 環境影響情報

現時点でデータ無し

水生環境有害性 (急性) : 含有成分のデータ

アクリル酸 区分 1

1 3 . 廃棄上の注意

都道府県条例に基づき焼却するか、産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。

1 4 . 輸送上の注意

UN Number: なし

IATA : 該当しない

IMO : 該当しない

荷役作業は丁寧慎重に行い、包装容器を破損、転倒しないように取扱う。



製品安全データシート

製品名 Loctite 350
初版 平成 6 年 3 月 10 日
改訂 平成 21 年 10 月 1 日
管理番号 : 153518-5

Product Safety & Regulatory Affairs

取扱いに際しては、必ず保護具を着用して作業する。

そのほか、危険有害性の要約、取扱い及び保管上の注意、安全性及び反応性の項を参照するほか、関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法 : 危険物第 4 類第 3 石油類
労安法 : 名称等を通知すべき有害物 (アクリル酸)
PRTR 法 : 第一種指定化学物質 (政令番号 4 - アクリル酸)
毒劇物法 : 該当しない

16. その他の情報

参考文献 : 30044-4 153518
JIS Z 7250 : 2005

本 MSDS の内容に関するお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社
製品安全性及び規制業務担当
横浜市磯子区新磯子町 27-7
Tel: 045-758-1780
Fax: 045-758-1771
作成者 近藤 由紀子

本製品の技術的なお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社
技術サービスグループ
横浜市磯子区新磯子町 27-7
Tel: 045-758-1810
Fax: 045-758-1753

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので取扱いには十分注意して下さい。この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。又、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。